

## アクティブ・レンジャー（17年度）の採用及び任命式について

平成17年6月1日（水）  
環境省自然環境局山陰地区自然保護事務所  
所 長：出江 俊夫  
担当：山本（庶務科） 高橋（公園保護科）

全国の国立公園等のパトロール、調査、利用者指導、自然解説などの業務を担うアクティブ・レンジャー（自然保護官補佐）を本格的に導入するため、4月6日から各地区事務所において公募により募集したところ、山陰地区自然保護事務所管内では、総数57名の応募があり、米子2名、松江1名、竹野1名、合計4名（男・女各2名）を採用することとなりました。

この4名はいずれも、本業務の目的に添った自然系の知見・資格あるいは公園管理の経験等を有しており、山陰地区で初めてのアクティブ・レンジャーとしてその活躍が期待されます。

本日、6月1日（水）山陰地区自然保護事務所において、当事務所管内のアクティブ・レンジャー任命式（辞令交付、所長訓示等）を行い、その後、それぞれの配置地区で自然保護官の指導の下、各自の知見・経験等を生かし業務を開始します。

なお、6月1日から2日の間は、当事務所において研修を実施することから、各配置地区での実質的な活動開始は6月3日以降となります。

### <平成17年度山陰地区自然保護事務所管内 アクティブ・レンジャー採用者>

山陰地区 4名	氏名（ふりがな）	性別	年代
大山隠岐（米子）	米山 沙希 （こめやま さき）	女	20代
大山隠岐（米子）	番原 昌子 （ばんばら まさこ）	女	20代
大山隠岐（松江）	高原 大輔 （たかはら だいすけ）	男	20代
山陰海岸（竹野）	吉田 歳宏 （よしだ としひろ）	男	20代

### 【問い合わせ先】

環境省自然環境局山陰地区自然保護事務所  
〒683-0067  
鳥取県米子市東町 124-16 米子地方合同庁舎 4 F  
電話：0859-34-9331 FAX：0859-34-9330

## 環境省アクティブ・レンジャー（山陰地区）

### 1. 職種

環境省アクティブ・レンジャー（自然保護官補佐）  
（非常勤の国家公務員）

アクティブ・レンジャー（自然保護官補佐）とは？

全国 11 ヶ所の自然保護事務所やその出先の自然保護官事務所（69 ヶ所）には、234 名の自然保護官（レンジャー）が配置されているが、特に、自然保護官事務所は、自然保護官が 1 人で駐在しているところが多く、広大な保護地域の管理や業務の増大に追われ、十分な現地パトロール、利用者指導等の業務が行いにくい状況にある等、現地管理体制の強化が急務となっていた。（職員 1 人あたりの国立公園管理面積：8,800ha）

今般、自然保護官を補佐する職員（非常勤の国家公務員）を配置することにより、自然保護官事務所等の機動力を高め、自然保護・利用上の問題を早期に捉えて適時的確な対策に繋げる等、国立公園等の管理水準を高めようとするものである。

### 2. 勤務地及び業務内容

山陰地域におけるアクティブ・レンジャーは、以下 ~ の 3 地区で活動します。それぞれの地区で、自然保護官を補佐し主に次の業務を行います。

大山隠岐（米子）2 名

【勤務地】

山陰地区自然保護事務所

鳥取県米子市東町 1 2 4 - 1 6 米子地方合同庁舎（電話 0859-34-9331）

【主な業務】

- ・国立公園（大山隠岐：大山）鳥獣保護区（中海）の巡視、自然・利用に関する情報の収集
- ・大山情報館等における国立公園（大山地域）に関する自然情報等の発信
- ・鳥獣保護区（中海）の渡り鳥等の生息情報の調査
- ・鳥獣保護区（中海）のワイズユースに関する連携事業等の実施及び連絡調整
- ・鏡ヶ成の植生回復に関するモニタリング調査、植生回復事業の実施
- ・民間団体等との連携事業の実施・指導（地区清掃、大山山頂移入植物除去、歩道管理等）

大山隠岐（松江）1 名

【勤務地】

松江自然保護官事務所

島根県松江市上乃木 5 - 1 7 - 3 1 （電話 0852-21-7626）

【主な業務】

- ・国立公園（大山隠岐：三瓶、隠岐等）鳥獣保護区（中海、宍道湖）の巡視、自然・利用に関する情報の収集
- ・鳥獣保護区等（中海、宍道湖）の渡り鳥等の生息情報の調査
- ・鳥獣保護区（中海、宍道湖）のワイズユースに関する連携事業等の実施及び連絡調整
- ・子供パークレンジャー事業（三瓶）の実施補助
- ・民間団体等との連携事業の実施・指導（地区清掃、歩道管理等）

山陰海岸（竹野）1 名

【勤務地】

竹野自然保護官事務所

兵庫県豊岡市竹野町竹野 3 6 6 2 - 4 （電話 0796-47-0236）

【主な業務】

- ・国立公園（山陰海岸：兵庫、京都府）の巡視、自然・利用に関する情報の収集
- ・竹野スノーケルセンターにおける自然とのふれあい事業（スノーケリング等）の実施、ボランティアの育成、自然情報等の発信
- ・竹野スノーケルセンター周辺海域海中生物調査補助
- ・アベサンショウウオに関する生息状況調査、保全対策の実施補助
- ・ボランティア等民間団体との連携事業の実施・指導（利用者指導、地区清掃等）